

事務所

Office building



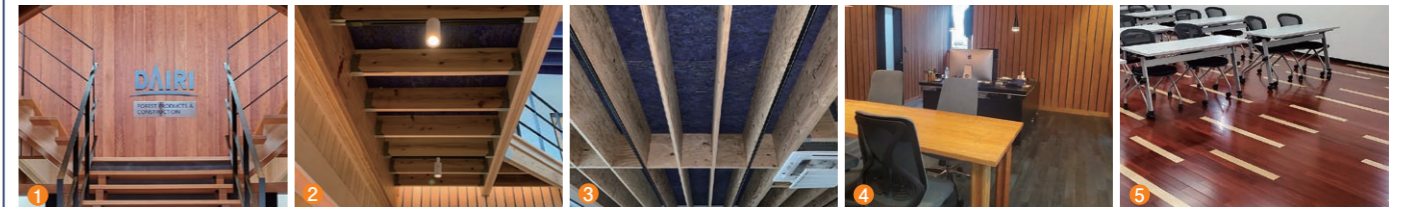
ツーバイフォー工法によって約4ヵ月と短工期で竣工した新社屋。合理性を重視し、シンプルな外観とした。



開放感と木の温もりが感じられるエントランスホール。蹴込みのない軽やかなデザインの階段をY字型に配置。



約19m×8mの大空間で、中央(左上)に約4m四方の吹抜けがある事務室。天井はLVL現し。全館蓄熱床暖房で、冷房のみ天井の空調を利用している。

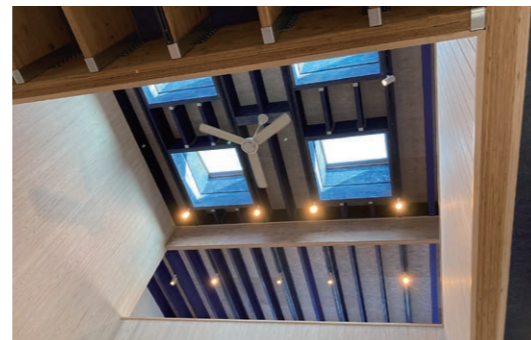


木材見本のような多様な内装が特徴だが、加工形状を統一することで施工を合理化し、仕上げ材も圧着やフィニッシュ釘留等とした。①エントランス正面の壁/重厚な趣のあるブラックチェリー材を用い、社名ロゴを配置した。②エントランスホールの天井/徳島杉の210材を現しで使用。③事務室の天井/ペイマツLVL。防火制限がないため現しにした。④役員室の床・壁/床は徳島杉と徳島名産の藍染染料を組み合わせたフローリング。壁はハードメープル材の間に藍染材のスリットを入れている。⑤会議室の床/施工当時、在庫の量が半端で使い道のなかったメープル材を柄として活用した。ベースはブラックチェリー材。

多彩な木質空間を創出した
コンポーネント会社の新社屋

2021年に徳島県の工業団地内に完成したこの建物は、創業62年の木材会社を起源とするコンポーネント会社の社屋です。前社屋の老朽化を受け、代表が着想したのは、30年前に原木輸入で北米を訪れたときに会ったツーバイフォー工法による事務所でした。「オフィス環境が素晴らしく、自社がコンポーネント事業に関わる契機になったほど感銘を受けました。しかもその良さは現在も保たれています」と代表。快適なオフィス環境を第一の目的に、技術のPRや汎用性を意識したコストプラン、木材活用などさまざまなテーマが盛り込まれツーバイフォー工法で建設されました。

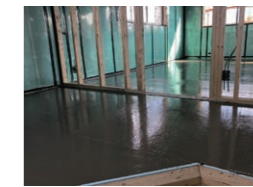
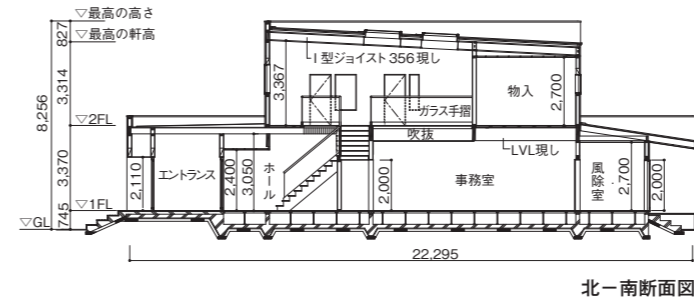
規模は2階建てで延床面積617.71㎡。1階の事務室は約19m×8mで中央に4m四方の吹抜けを有する明るいオフィス空間となっています。2階の床構造にLVL(38mm×505mm)を455mmピッチで用いることで無柱空間が実現し、現し仕上げとすることで木質デザインとして活かされました。断熱計画は外壁と下屋は充填断熱、2階屋根は外断熱を採用。基礎断熱を実施し、蓄熱床暖房が採用されました。「建物はどこも快適で従業員からも好評です。来社される方からは強度面の安定感や空間のスケール感にも評価をいただきます」と代表は語ります。



2階屋根構造には1型ジョイストを採用。意匠として現しにするために屋根に外断熱を採用。トップライトの光は吹抜けを通して1階事務所の自然採光となっている。

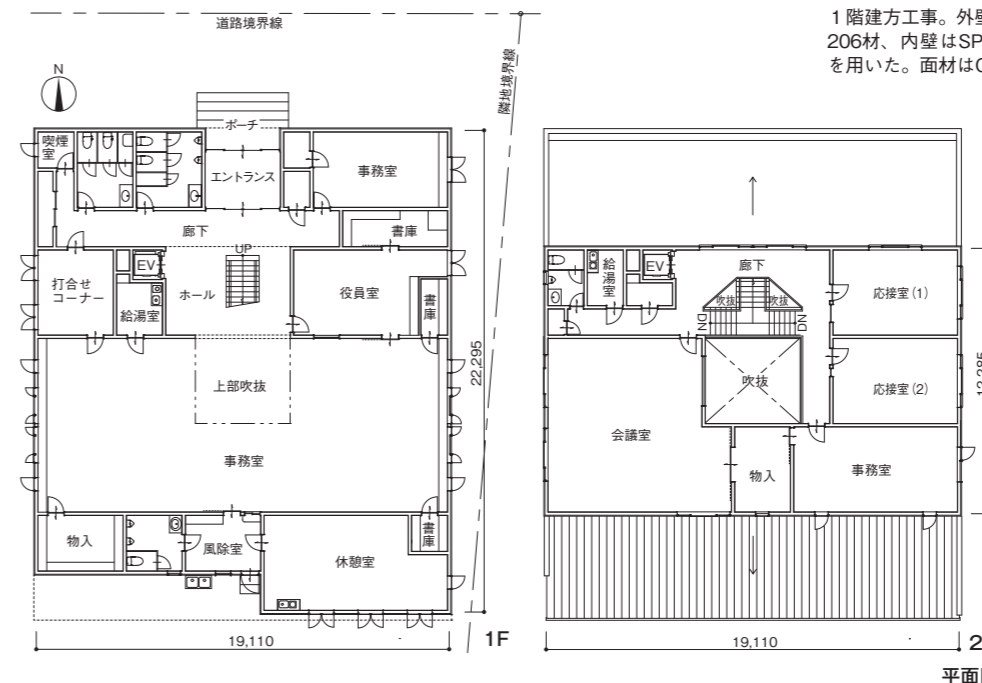


2階ホール。断熱性能の高い躯体と吹抜けに設置したサーキュレーターにより建物全体の温度が一定に保たれる。



遮音・振動対策として2階の床下地に特殊シート+コンクリート打設60mmを実施。

1階建方工事。外壁はSPF206材、内壁はSPF204材を用いた。面材はOSB。



物件概要 Office building

(株)ダイリ FPC 社屋

所在地: 徳島県徳島市
用途: 事務所
構造: 枠組壁工法
規模: 2階建て
敷地面積: 2,634.10㎡ (796.82坪)
建築面積: 421.40㎡ (127.47坪)
延床面積: 617.71㎡ (186.86坪)
1階 403.696㎡ (122.12坪)
2階 214.012㎡ (64.74坪) 事業主: (株)ダイリFPC
設計・監理: (有)新設計工房
構造設計: (有)酒井建築設計事務所
建方工事・施工: (株)ダイリFPC
工期: 2020年10月～2021年2月
法規制: 工業専用地域(建蔽率60% 容積率200%)